

安全データシート

更新日 2019年12月2日

改訂日 2024年12月6日

1. 製品及び会社情報

製品名 Propylene Glycol Monomethyl Ether Propionate (PMP)

会社名 アーク株式会社

住所 大阪市中央区安土町 3-5-13

本町ガーデンシティテラス 3階

電話番号 06-6563-7710

FAX 番号 06-6563-7720

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 JIS Z 7252、7253:2019 使用

物理化学的危険性 引火性液体 区分 3

健康に対する有害性 皮膚腐食性／刺激性 区分 3

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分 2B

特定標的臓器毒性（単回暴露）【区分 3】 気道刺激、麻酔作用

環境に対する有害性 該当する区分なし

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 警告

危険有害性情報 引火性液体および蒸気

軽度の皮膚刺激

眼刺激

呼吸器への刺激の恐れ

眠気またはめまいのおそれ

注意書き

【安全対策】 熱、火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

静電気放電や火花による引火を防止すること。

吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。

【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

【破棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の破棄物処理業者に委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質／混合物の区別 化学物質

化学名 プロピレングリコール モノメチルエーテル プロピオネート
(Propylene Glycol Monomethyl Ether Propionate)

別名 1-メトキシ-2-プロピル プロピオネート

化学式 C₇H₁₄O₃

濃度 ≥99.5%

CAS 番号 148462-57-1

官報公示整理番号 化審法：(2)-3723 安衛法：公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを容易にはずせる場合は外して洗うこと。

目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。

最も重要な徴候及び症状 咳、めまい、し眠、頭痛、吐き気、咽頭痛、腹痛、下痢、意識喪失、

皮膚の乾燥、発赤、痛み

応急措置をする者の保護 救助者はゴム手袋、密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末、泡、二酸化炭素

使ってはならない消火剤 棒状放水

特有の消火方法 消火作業は、風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

個人用保護具（自給式呼吸器）を着用する。

漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させる。

十分に換気を行う。

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項 製品が排水路に排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法

- ・機材 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる容器に回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。

二次災害の防止策 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 取扱いは換気のよい場所で行う。

適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。

熱、火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。

静電気対策を行う。

設備などは防爆型を用いる。

取扱い後は手や顔などをよく洗う。

注意事項 できれば、密閉系で取扱う。

蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いる。

安全取扱い注意事項 皮膚、眼および衣類との接触を避ける。

保管

適切な保管条件 容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管する。

施錠して保管する。

酸化剤などの混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料 法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。

取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度 設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具 防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。

手の保護具 不浸透性の手袋。

目の保護具 保護眼鏡(ゴーグル型)。状況に応じ保護面。

皮膚及び身体の保護具 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态(20℃)

形状 透明液体

色 無色 ~ ほとんど無色

臭い 特異臭

pH 情報なし

融点 情報なし

沸点/沸騰範囲 161℃/157~167℃

引火点 56℃

燃焼又は爆発範囲 下限：0.6% 上限：20.0%

蒸気圧 0.9mmHg(20℃)

蒸気密度 5.1

比重 0.95

溶解度

[水] 可溶 (19.8g/100mL)

[その他の溶剤] 情報なし

オクタノール/水分配係数 情報なし (0.) 3

自然発火温度 351℃ (272℃)

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性 特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件 火花、裸火、静電放電

混触危険物質 酸化剤、強酸、強塩基

危険有害な分解生成物 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 orl-rat LD50:8532 mg/kg

ipr-mus LD50:750mg/kg

skn-rbt LD50:> 5 g/kg

皮膚腐食性/刺激性 情報なし

眼に対する重篤な損傷/刺激性 情報なし

生殖細胞変異原性 情報なし

発がん性 IARC =情報なし

NTP =情報なし

生殖毒性 情報なし

RTECS 番号 : AI8925000

12. 環境影響情報

生態毒性 魚類 : 96h LC50:>100mg/L (Oryzias Latipes)

甲殻類 : 48h EC50:370mg/L (Daphnia magna)

藻類 : 72h EC50: >1000mg/L (Selenastrum capricornutum)

残留性/分解性 情報なし

生体蓄積性(BCF) 情報なし

土壤中の移動性 オクタール水分配係数 : 0.3

土壌吸着係数(Koc) : 情報なし

ヘンリー定数(PaM³/mol) : 情報なし

13. 廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。

地方条例や国内規制に従う。

焼却処理する場合には、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。

空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

国連分類 クラス3 (引火性液体)

国連番号 3271

正式輸送品目名 Ethers, n.o.s.

包装等級 III

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行い、法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 第4類 第二石油類 危険等級Ⅲ 非水溶性

安衛法（施行令別表第一） 危険物 四 引火性のもの

船舶安全法 危規則危険物告示 別表第1 引火性液体

16. その他の情報

このMSDSは、我々が知り得た情報を基に誠意をもって作成しておりますが、記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。

ご使用に先立って、危険、有害性情報のみならず、ご使用になる機関、地域、国の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先してください。